

巻頭言

振動分光イメージングの美しさ……………岩田耕一

総合報告

振動分光イメージングの進展……………藤田克昌

解説

中赤外光熱ホログラフィック顕微鏡……戸田圭一郎ほか  
赤外イメージングによるレビー小体の微細構造解析

……………荒木克哉ほか

高速非線形ラマン散乱硬性内視鏡による神経

イメージング……………大和尚記ほか

ラマン分光による細胞の中の水の計測と分子夾雑環境・  
温度イメージングへの応用……………中林孝和ほか

研究論文

液中レーザーアブレーションによる酸化亜鉛微粒子の

還元・ナノ粒子化と金属空気電池への応用

……………谷口誠治ほか

気になる論文コーナー

今後の特集予定

51 巻 6 号「2021 年日本の光学研究」

51 巻 7 号「天文学を支える光学技術」

本号は日本光学会創立 70 周年記念号で、一般社団法人日本光学会となって初めての節目の特集号になります。企画に際しては、創立 60 周年からの 10 年間を振り返るよりも、日本光学会の将来を重視しました。企画の議論を開始したのは約 1 年前ですが、2022 年の日本光学会のスローガン「継往開来」とも合った内容になったと思います。特に「光学界の将来ビジョン」では、学生会員や若手社員に向けて光学の未来に期待を抱かせるような将来ビジョンや、20 年から 30 年後について著者の夢を語ってくださいという内容で、日本光学会の 17 の研究グループ・専門委員会へ著者の推薦を依頼しました。難しい依頼にもかかわらず、お忙しい中原稿を執筆いただきました著者の皆様に心より感謝申し上げます。日本光学会および光学界の将来を想像しながら、今回の特集をお読みいただければと願っております。

また、過去の特集号では関係する国内および海外の学会からご祝辞をいただいており、今回も多くの関係学会からご寄稿いただきました。祝辞文は会員の方以外にもお読みいただけるよう、日本光学会ホームページに開設した創立 70 周年特設ページに掲載します。併せてご覧ください。

最後になりましたが、企画を一緒に検討していただいた担当編集委員と編集局の皆様、企画へのアドバイスとサポートをいただいた日本光学会の総務委員会、国際担当委員、事務局の皆様にお礼申し上げます。

(石井, 山本)

特集関連の原著論文を募集しています

「光学」では上記テーマの特集を企画しています。これに合わせて、特集テーマに関連のある原著論文を募集いたします。投稿締切は、当該特集号の発行月の 4 か月前の 10 日とします。

特集関連の論文については査読作業をより迅速化し、採択となった論文はその特集号の発刊に合わせて掲載するようにいたします。特集号を明記のうえご投稿ください。詳しくは「光学」編集局 kogaku@academic-j.co.jp にお問い合わせください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2022 ©

第 51 巻 第 4 号 <月刊>

2022 年 4 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5 階

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

|        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| 山本 裕紹* | 芦原 聡** | 秋葉 教充 | 白井 文昭  |
| 江川麻里子  | 小関 泰之  | 小野 雅司 | 木村 隆志  |
| 金高 健二† | 黒坂 剛孝  | 小泉 直也 | 斎藤 真司  |
| 齋藤 直洋  | 酒井 大輔  | 下垣 哲也 | 庄司 暁   |
| 杉田 篤史  | 鈴木 良政  | 瀬谷 安弘 | 田上 周路  |
| 田代 知範  | 玉田 洋介  | 張 開鋒  | 辻野 賢治† |
| 寺川 光洋  | 中村 友哉  | 西舘 泉  | 野崎 昭俊  |
| 日達 研一  | 藤村佳代子  | 水谷 康弘 | 水野 洋輔  |
| 森本 智英  | 山中 真仁  |       |        |

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp